

1 単元名・学年 「自分の一日を紹介しよう」・6年

2 単元設定の理由

(1) 外国語活動を通じた新たな気づきを生むトピック

本単元では、世界の時差を予想する活動、また各国の小学校の時間割の資料を用いて、グループごとに情報交換する活動を設定している。時差によって、自分が今学校で勉強している間に、寝ている人がいたり、ご飯を食べていたりする人が世界にいることは、子どもにとって、驚きが大いことだろう。それだけでなく、学校が始まる時間、下校の時間などにも違いがあることを知ることで、より異文化への興味・理解が高まると考えられる。

(2) 思わずコミュニケーションをとりたくなる内容、学習過程

本校では、聞く活動を中心に外国語活動を進めてきたが、6年生になると、聞いて Yes, No で反応するだけでなく、英語を使ってみたいという気持ちが高まってきていることが、毎時間の振り返りカードからも伺える。時間を扱う単元は、今まで十分慣れ親しんでいる数字がもととなるため、聞き取ったり、言ったりすることができやすい。また、何を聞くのかを明確にさせておけば、What time? の簡単なフレーズだけで、意味が通じることから、友達と英語を使ったコミュニケーションをとりやすい単元だと考えられる。また、同じように学校に来ていても、起きる時間や寝る時間は子どもによって違いがあるため、一番早く起きる友達を当てるために、友達に質問するという活動を設定することで、必要感が生まれ、子ども達は、思わずコミュニケーションをとりたくなるのではないかと考え、本単元を設定した。

3 単元の具体目標

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	先生や友達の一日の過ごし方に興味を持ち、積極的に聞いたり、答えたりする。
イ 外国語への 慣れ親しみ	時間に関する単語や会話を聞いたり、話したりしながら、英語の発音やリズム、受け答えの仕方に慣れ親しむ。
ウ 言語や文化に 関する気づき	世界には時差があること、生活時間にも違いがあることに興味を持つ。

4 単元展開の概要

時数	学習活動	学級担任の活動 (AETの活動)	● 指導上の留意点 ◇ 国際理解の観点 ◎ 評価の観点	教材
1	世界の時差を調べよう	○時間に関する話(会話)をし、外国(AETの母国)と時差があることに気付かせる。 (何時に学校に来るか、今は何時か→AETの家族は今の時間、何をしているのか。) ○日本が8時の時、他の都市は何時かを聞き、NYは何時かを予想する。	●模型時計を用意し、時間を聞きながら、目で見てもわかるようにする。 ●Hi, friends!2 p24, 25 ◇世界の他都市との時差 ●地球儀、地図帳で他都市の場所を確認する。	Hi, friends!2
◎英語での数字の言い方を知り、日本語と同じように数字を使えばいいことが分かる。 ◎世界には時差があることが分かる。				

2	何時何分はどうやって言うのかな	○英語で時間を言い、子どもは時計に聞いた時間を書き込む。 ○100までの数をいろいろなゲームで復習する。	●Hi, friends!2 p22, 23 Let's listen	
	◎何時何分の方も、日本語と同じように考えればよいことが分かる。 ◎100までの数に慣れ親しむ。			
3	世界の時間	○What time is this? Game 子どもの好きなテレビ番組、学校の時間割の時間を yes, no で答える。 ○グループごとに一カ国を担当し、世界の国々の生活時間を発表させ、比べる。 ・1時間目が一番早く始まるのは? ・下校が一番早いのは?	●What time?を繰り返し聞かせる。 ●グループごとに違う国の小学生の生活のシートを配り、友達のグループが発表する時間をしっかり聞かせる。	
	◎What time?と聞かれて、時間を答えることができる。 ◎外国とは、時差があるだけでなく、生活時間も違うことがわかる。			
4	クラスで一番早起きなのは誰かな?	○先生の一日の生活時間を話す。 ○友達同士で起きる時間をインタビューし合い、誰がクラスで一番早く起きるか予想し、確かめる。	●言えない子、聞きとれない子が出ないように、What time? だけで聞かせるようにし、答えも○時ちょっぴりで答えるようにさせる。	
	◎クラスのみんなの生活時間の違いに興味を持つ。 ◎友達同士、What time? を使って、質問したり、時間を答えたりできる。			

5 評価計画 (◎: 主となる観点、○: 主ではないが大切にしたい観点)

時数	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語への慣れ親しみ	ウ 言語や文化に関する気づき	評価方法
1		○	◎	行動観察・自己評価
2	○	◎		行動観察・自己評価
3	○		◎	行動観察・自己評価
4	◎	○		行動観察・自己評価

6 本時案

(1) 主眼

何時何分の時刻の言い方や、世界には時差があることが分かった子ども達が、一グループ一カ国の学校の時間割の情報を持ち、それを発表し合い、比べることを通して、世界には、時差だけでなく、生活時間にも違いがあることに気づくことができる。

(2) 本時の位置 全4時間中の第3時

(3) 指導上の留意点

- ・各国の情報を出し合う場面では、子ども達同士で時間を聞き合えるよう、教師は子どもの言った時間をくり返さない。
- ・各国の授業時間の違いだけでなく、教科の違いに目を向ける子どももいると思われるので、授業の最後で取り上げる。

(4) 展開

過程 (procedure)	時	活動 (Activity)	
		児童の主な活動	主な活動 (・) H (HRT のインプット) A (AET のインプット) C (子どものアウトプット)
あいさつ (Greeting)	2	① 英語であいさつをしよう。	・英語であいさつをする。 H: Hello, everyone. C: Hello, ○○sensei. A: Hello, everyone. C: Hello, ◇◇ sensei. H: How are you? C: I'm fine.
ウォームアップ (Warm up)	5	② Thirty, Forty..., One Hundred を歌う。	H: Let's sing 『Thirty, Forty..., One Hundred』 . ・1回目 CD に合わせて歌う。 ・2回目以降 キーワードを決めて、キーワードは歌わずに、拍手をする。 H: Choose one number. Don't sing No.○.
復習 (Review)	5	③What time is this? chant をする。	・What time is this? chant をする。 ・HRT、AET が交互に時計の針をジェスチャーで示し、リズムに合わせて What time? と尋ね、児童はそれが何時か答える。 H/A: What time? C: 8:00.
【中心となる活動1】 聞く活動 (Listening Activity)	10	④what time is this? クイズをする。	・ヒントをもとに、AET と HRT が、時間の問題を出し合う。児童は、yes/no で答えたり、新しくヒントを出したりする。 ○テレビの番組の始まる時間を AET が出題 → HRT が答える。 → 子どもは、yes/no で答えを教える。 間違っていた場合は、正解するまで何時か当てる。 A: What TV program do you like? C: ヘキサゴン A: ○○sensei, ヘキサゴン What time? H: 7:00. A: Yes? No? C: Yes! A: 竜馬 What time? H: 9:00 C: No! H: 8:00. C: Yes! ○学校の時間を HRT が出題 → AET が答える。 H: ◇◇ sensei, 給食 What time? A: 12:30? C: No! Back! A: 12:25? C: Yes! 同様に 休み時間、下校など

<p>【中心となる活動2】 挑戦する活動 (Challenge Time)</p>	<p>15</p>	<p>⑤ 世界各国の 小学生の過 ごし方を知 ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ AET の先生からカナダの小学生の時間割を聞く。 H: In Canada, school start ○ : ○○. Lunch time is ○ : ○○. C: え～！日本と全然違う！ H: 他の国はどうなのかな。世界各国の小学生の過ごし方を知ろう。 1 マレーシア 2 ブラジル 3 スペイン 4 オマーン 5 オーストラリア 6 ロシア 7 中国 8 ベトナム ・ 国旗を見せて、どの国かを考える。 A: Which country? 以下同様に全部の国を確認。 H: 国旗を地図に張っていく。 ・ 班で一カ国ずつ担当する。カードをひかせる。 どの班がどの国か確認する。 H: China, raise your hand. ・ どの国が一番早く一時間目が始まるか、情報を出し合って知る。 H: どの国が一番早く一時間目が始まるかな。 ワークシートを配る。友達の国の時間を聞いて、一番早い国をワークシートに書きこむよう指示する。メモ OK。 友達の話聞いていないとわからないことを伝える。 ・ 何時何分の言い方を、時計のシートで確認する。 H: What time? と一班ずつ聞いていく。 C: グループで声を合わせて 7 : 0 0 など ・ 正解（一番早く一時間目が始まる国）をみんなで確認する。 A: Which country? C: Vietnam. H: 他に聞いてみたい時間はある？ C: 帰る時間！給食！ ・ 同じように調べる。
<p>評価活動 (Evaluation)</p>	<p>5</p>	<p>⑥ 振り返りカードに記入し、今日の授業を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードに記入するよう指示する。 ・ 気づいたことや楽しかったこと、友だちの姿のよかったところを何人かに発表させる。
<p>あいさつ (Greeting)</p>	<p>3</p>	<p>⑦ 先生たちにさようならをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語であいさつをする。 A, H: See you everyone. C: See you ○○ sensei.
<p>準備する教材 教具など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『Thirty, Forty..., One Hundred』の CD ・ カナダの学校の時間、各国の時間の資料（4人グループに一人）、地図、国旗 		

(5) 資料

・ 各班に配る外国の小学生の時間割情報シート

「世界の子どもたちはいま」シリーズ（学習研究社）より該当ページをコピー。

各国の小学生の過ごし方を知ろう

名前 _____

☆友達のグループの言う時間をよく聞いて考えよう！

Q 一番早く一時間目が始まるのは？

答え

◇メモ◇

他に知りたいこと

Q

答え

Q

答え